

## 国民健康保険の届け出はお済みですか

就職などで健康保険が変わるときは14日以内に手続きを

市内に住んでいる人は、職場の健康保険に加入している人や生活保護を受けている人などを除いて、市の国民健康保険（国保）に加入することになっています。国保に加入や脱退するときは、世帯主か加入者からの届け出が必要です。届け出が遅れると、国保の資格を得た日までのさかのぼって保険料を納めることになったり、国保税と社会保険料を二重に納めることになったりします。また、他の健康保険に加入しながら国保の保険証を使って受診した場合、市が負担した医療費は全額返してもらいます。詳しくは、市公式サイトで確認してください。



### こんなときは14日以内に届け出を

- 加入 ▷国保加入者で市外から転入してきた▷職場の健康保険をやめた▷職場の健康保険の被扶養者でなくなった▷国保加入者で子どもが生まれた▷生活保護を受けなくなった▷外国人が国保に加入する
- 脱退 ▷国保加入者が市外に転出する▷職場の健康

保険に加入した▷職場の健康保険の被扶養者になった▷国保の被保険者が死亡した▷生活保護を受けるようになった▷外国人が国保をやめる（転出、出国、就職など）

- その他（国保加入者）▷市内で転居した▷世帯主や氏名が変わった▷世帯を分けた、一緒にした▷市外の学校に入学するために転出した▷国民健康保険証を失くした、汚れて使えなくなった
  - 持ってくるもの▷共通=マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類、代理人が手続きする場合は委任状、保険料の口座振替手続きには、金融機関の通帳と通帳印、限度額適用認定証、特定疾病療養受療証（持っている人のみ）
  - ▷加入=資格喪失証明書など
  - ▷脱退=国民健康保険証、職場の健康保険の保険証または加入証明書など
  - ▷その他の届け出=国民健康保険証、在学証明書など
- 【問】市健康づくり課国民健康保険係（☎77・8506）

## 水道の開始・中止の手続きは電子申請が便利

夜間や休日でもパソコンやスマートフォンで24時間手続きできます

引っ越しなどで水道を使い始めたい、止めたいときは、事前に水道の開始、中止の手続きが必要です。市役所窓口の他に、インターネットを利用した電子申請もできます。「開始や中止の手続きをしたいけど市役所に行く時間が無い」という人は電子申請がおすすめです。夜間や休日でも自宅からパソコンやスマートフォンで手続きできるのでとても便利。希望日の3営業日前までに申請が必要です。詳しくは市公式サイトを確認してください。



【問】市上下水道課料金係（☎77・8596）



### 年金コーナー

## 口座振替やクレジットカードの前納が年度途中から可能に

国民年金保険料は、毎月払いか前納（前払い）で納付することができます。口座振替やクレジットカードで納付すると金融機関へ行く手間が省け、納め忘れを防ぐことができるのでおすすめです。前納すればお得な割引の適用も。3月からは、口座振替やクレジットカードの前納が、年度の途中からでも可能になります。3月1日以降に申し出があった場合、初回の振り替えから前納が開始され、初回振り替えの月分から年度末（2年払いの場合は翌年度末まで）を前納できます。詳しくは市公式サイトを確認してください。※割引額は、納付方法や前納の振替期間に応じて変わります。



### ねんきんネットで保険料の納付が可能



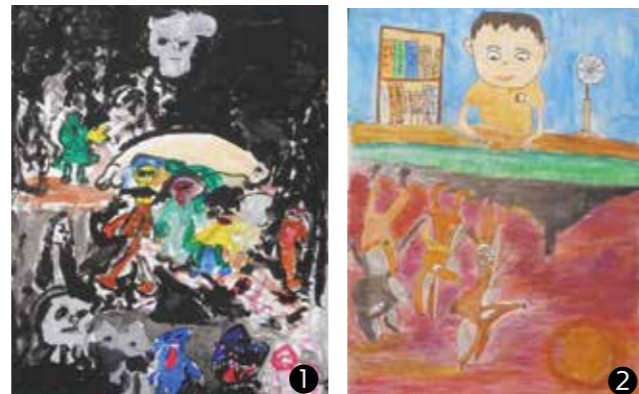
「ねんきんネット」を使えば、納付書が手元になくともインターネットバンキングなどを利用して保険料が納付できます。詳しくは市公式サイトを確認してください。【問】大牟田年金事務所（☎52・5294）、市健康づくり課（☎77・8503）、大和・三橋庁舎市民サービス課



## 好きな本の心に残ったシーンを絵で表現

あめんぼ読書感想画入賞者発表 応募140点の中から17点が入賞

市立図書館は、市内の小学生を対象にあめんぼ読書感想画を募集しました。今回は、140点の応募の中から17点が入賞。入賞者は次のとおりです（敬称略、かっこ内は学校名と学年）。詳しくは市公式サイトを確認してください。



- 低学年の部▷最優秀賞=百武諒斗（藤吉1）▷優秀賞=山田あかり（両開1）、田中晴希（二ッ河2）▷優良賞=樋口心美（中島1）、矢ヶ部潤汰（二ッ河2）、木下修太郎（同2）、鳥井奏汰（両開2）
  - 中学年の部▷最優秀賞=北原篤史（昭代第一3）▷優秀賞=山田朝桜（両開3）、高岸有咲（昭代第一3）▷優良賞=西徠斗（藤吉3）、濱邊太一（蒲池3）
  - 高学年の部▷最優秀賞=藤崎みつき（藤吉5）▷優秀賞=大橋泉水（垂見5）、木原ひなた（藤吉5）▷優良賞=井上陽加（藤吉6）、江頭悠真（同6）
- 【問】図書館本館（☎74・4111）



- 最優秀賞作品
- ①百武諒斗「オニのきもだめし」
- ②北原篤史「それで、いい!」
- ③藤崎みつき「ハンカチともだち」